

令和 2 年度 第 3 回番組審議会 議事録

開催方法 : 今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員による試聴レポート提出にて、書面での開催といたしました。

提出者 : 番組審議会委員 3 名

委員名 : 金子 富康、上田 薫子、伊藤 ゆかり、齊藤 進治、岩崎 高広

事務局 : 藤芳 祥子、濱野 歩、岩崎 和沙

議事録 : 藤芳 祥子

議題 1 議題の放送番組全般に関するご意見・ご感想

審議番組名「戸塚井戸端会議。」収録放送

パーソナリティ：棟近ちなみ

放送時間 9月9日(水) 12:00~14:55 放送

■ 議題番組について (事務局から文書にてご説明)

【番組制作のきっかけ】

子育て世代の主婦や働き世代へ届けたい情報を収集し、ラジオを通してシェアしたいという思いから、今年4月の大改編を機に、エフエム戸塚の新人パーソナリティを起用し、曜日ごとに特色あるコーナーを設けて、ラジオの井戸端会議的、情報交換プログラムをスタートさせました。パーソナリティの個性を生かしたコーナーづくりも注目いただきたい番組です。

また、行政や町内会、地域団体からの有益な情報もお届けし、平常時にはもちろんのこと、災害時において地域におけるエフエム戸塚の責務を再確認する番組です。

コーナー紹介：とつかの力(戸塚区役所・戸塚警察署・戸塚消防署)、栄区役所・栄警察署・栄消防署コーナー、町内会コーナー、戸塚ぐるっとグルメ、戸塚ゆる散歩、わんにゃん物語、ビューティープログラム、教えて!戸塚キッズ等

【経緯】

今年4月よりお昼の生放送枠として、それまでの2時間放送番組であった「totsuka heartfelt kitchen」をリニューアルし、3時間に拡大し「戸塚井戸端会議。」としてスタートしました。

【2020年リニューアル内容と目的】

子育て世代が多く集まる地域の主婦の好奇心をくすぐるラジオの井戸端会議的、情報交換プログラムをテーマに、新人パーソナリティを起用し、曜日ごとにテイストを変えてフレッシュにお届けする番組にリニューアルしました。2020年12月現在、行政、町内会等の恒例コーナーの他に、パーソナリティの特性を生かしたオリジナルのコーナーもお届けしています。月曜日は戸塚密着型シンガーソングライターの kaho* を起用し、おうち時間

を楽しくする「かほんぬ書店」「おそうじ Labo」などのコーナー、火曜日と水曜日は棟近ちなみが、戸塚の街歩きを楽しくする「戸塚グルッとグルメ」「戸塚ゆる散歩」などのコーナー、木曜日と金曜日は早坂香莉愛がペット情報や戸塚のキッズたち、ビューティー情報をお届けする「戸塚わんにゃん物語」「教えて！戸塚キッズ」「戸塚ビューティープログラム」などのコーナーもお届けしています。

【各審議委員からの試聴意見・感想は以下の通り】

審議委員（A）

- ・3時間の長時間番組の企画はご苦労も多いのではと推察いたします。
- ・メッセージテーマを1つ決めて、ゆるい感じでまとめられていて、なるほどと思いました。番組途中でも、なぜそのテーマなのか、少し説明が入ると良いのではと思いました。
- ・また、折角なので九重町の紹介とか、9/9を温泉の日にした由来とか、戸塚近隣の温泉情報など聞けると聞きごたえが深まると思いました。
- ・川上町のcaféの紹介は内容も面白かったです。お店の行き方情報もあると良かったです。
- ・番組の対象が「子育て世代主婦や働き世代」ということですが、（今回の構成はあまりその印象を受けませんでした）在宅勤務の方も増えているので、「平日屋内の働き世代」への発信はポイントになってきているのかなと気付かせていただきました。

審議委員（B）

- ・放送の出だしが聞き取れ難かった。
- ・ニュース原稿のBGMが、放送している内容に沿っていないようで、BGMが何か急いでいるように聞こえていました。もっと落ち着いたBGMで聞きたいですね？交通情報でしたら良いと思いますが？
- ・全体で何曲もありましたが、リクエストを流す時は曲の前に曲紹介をして欲しいです。
- ・とつかの力では、区長との台風の事前の備えは棟近さんとのキャッチボールなどしながらの進め方とっても、わかり易かったです。
- ・映画紹介はとっても力が入っていましたが、ストーリーが良く理解出来てナイス番宣でした。
- ・レシピの紹介は、料理感が出にくいので難しいと思います。私も料理をするのですが、ラジオからの情報では、中々伝わりませんね～考をお願いします。
- ・メッセージの伝え方といいますか、読み方といいますか、とっても読み方（伝え方）が良かったです。
- ・リクエストの前に長く説明する曲や簡単に済ましてしまう曲がありますが、何か意図があつての事でしょうか？
- ・タウンニュースの記事紹介はもっとスムーズに、行えるのではないのでしょうか？
- ・インタビューのオベハカフェ？は、相手の思いが伝わり易いリードが良いと思います。相手の答えの出し方、伝えたい内容がとってもわかり易かったですね～
- ・3時間の長い放送ですが、楽しく聞かせて頂きました。棟近さんの進め方、話し方のテンポ及び声の大きさ、リクエストのタイミングなどとても安定しているように感じました。

審議員（C）

- ・この番組は今まで何度か聞いていました。印象的なのは、海外のラジオのような「ジングル」が流れ、いかにも若者世代を意識しているような印象を受けました。私自身、エフエム戸塚以外に、AM ラジオの FEN や、ドイツのある地方のネットラジオをよく聞いているので、その雰囲気「その時だけではありますが」一緒の気分になれます。
- ・この日は「温泉の日」。楽曲の数は数えませんが、温泉をテーマにした歌がこんなにあるのには驚きました。もちろん、パーソナリティの感性で沢山の中から選曲もされて流しているのでしょうか。楽しい楽曲でした。次は何でしょうか？とリスナーに投げかけてもいるのでしょうか。
- ・井戸端会議その1〜とつかの力（吉泉区長）。戸塚商店街のスタンプラリーで152店舗参加などと、区長へのインタビュースタイルだと思いますが、パーソナリティが質問する時に原稿を読んでいる（ような？）ところに、もう少し工夫が欲しいと思いました。
- ・ナチュラルウェンズデー。「ズボラ推奨委員会提供」とネーミングの面白さがあり、さらにズボラ飯をズボラに紹介するコーナーはとてもユニークだと思いました。「丸ごと玉ねぎレンチン」、簡単だが美味しそうなズボ飯に、（CDを夕食時間に聞いていたので）思わずキッチンに入ってレンチンしてみました。結構いけます。戸塚法人会という少々お堅い会社の集まりからの提供なのですが、「貴会に届いているリスナーの反応はいかがですか？」とお聞きしたくなりました。
- ・午後2時。番組レビュー、ウェブ上に感想を掲載しています、ぜひ投稿してください、一つの投稿につきプレゼント（タッチペン、画期的グッズ）があります、とリスナーにアクションを呼びかけているのは良いアイデアと思いました。クスッと思わずしたのは、パーソナリティ自身へのレビューを読んだ場面。「声が心地いいとか、地名を噛んだ・・・」などを嬉しそうに伝えてくれましたが、好感がもてました。
- ・1日早い地域情報。坂本貴光さんの活動、戸塚で働く人たちを動画で紹介する取り組み、貴光さんを個人的に知っているだけに、国際的な写真家ではあるけれど本当に地元を大事にしている人だと、普段会えないだけに改めてラジオを通じて知る機会になりました。
- ・「ナチュラルティータイム」。お茶の効能、おいしい飲み方などを紹介するコーナーでは、川上町、オベハ・カフェを取材されました。選りすぐりの材料を使っているが、正解のないもの、答えが出せない、飲む人自身がこだわって選んだコーヒーが「正解」というオーナーの言葉を引き出し、日頃口にしているものの奥の深い、味わいがあることを紹介してくれました。

■ 事務局から

- ・今年は新型コロナウイルスの影響で、在宅勤務の方が増え、お家で楽しむ情報がより必要であると実感しております。今後も番組内で、お家時間を楽しく有意義に過ごすためのヒントとなる情報をできる限りお伝えしていきます。
- ・暮らしにかかわる行政からの有益な情報や、町内会、各団体の情報なども、みなさまのご協力をいただきながらわかり易くお届けしていきます。
- ・戸塚に住む人、働く人、そうでない人も、戸塚の魅力を再発見できるコーナーとなるよう取り組みます。
- ・情報が1人でも多くのリスナーへ届くよう、わかりやすく、詳細にお伝えしていきます。

議 題 2 エフエム戸塚の放送に関するご意見ご感想について

■ 各審議委員からの試聴意見・感想は以下の通り

審議委員（A）

- ・エフエム戸塚の「番組レビュー」を始められたとのことで、もし今後リスナーの傾向など分析されるようでしたら、情報提供いただけるとありがたく存じます。

審議委員（B）

- ・この番組は新人パーソナリティの起用を標榜しての改編。「放送の枠」～子育て世代主婦や働き世代に情報を届ける！狙っている世代は、新しい情報を集めたい、接していきたい、友だちに伝えたい、と思っている。別の見方からすると、情報過多の渦中の人でもある。番組制作者側からの「新人（年齢に関係ないが）起用」のプレッシャーをどのように感じているか、感想を聞きたい。
- ・パーソナリティー自身、単独ライブは2回目とのこと。放送を聞いた限りでは、半年が過ぎていることもあり、落ち着いて楽しそうにやっていると感じました。
- ・4月からの改編で2時間だったものを、3時間にし、かつ新人登用。「Totsuka Heartful Kitchen」の検証の結果なのか？英語表記の番組、かたや井戸端会議、とややナツメロの世界観のありそうなネーミングの選択（洗濯?!）にスタッフの意気込みが隠されているのでは？お聞きしたい。
- ・3時間の放送を聞いて、放送の流れの中で、棟近さんが抱いている長丁場をどのように進めるのか、「ハイライト」あるいは「起承転結」をどのポイントに置いているのか、お考えをお聞きしてみたいと思います。
- ・放送内容は、平常時のことが中心だが、どこに「災害時」への心構えが、語られているのか、注目して聞いていきたいと思います。

■ 事務局から

- ・戸塚の楽しい情報、ためになる情報、素敵な人やものについて取り上げていますが、多くの情報量を伝えるだけでなく、どのようにしたらリスナーのみなさんが番組に参加していただけるのか、また心に残る情報となるために、届け方や取り上げ方をパーソナリティと常に打ち合わせをしながら制作しています。パーソナリティとの距離が近く、リスナー同士の距離も近い放送、お互いが会話をしているような放送にしたいと考え「戸塚井戸端会議。」というタイトルをつけました。
- ・新人登用により、新しい目線で戸塚の魅力をお届けできるのではないかと考えました。フレッシュな放送をお届けできているのではないかと期待しております。
- ・多くのオリジナルコーナーを、パーソナリティそれぞれの特性を生かして制作しているため、個人だけではなく、エフエム戸塚全体でバックアップしています。例えば、コーナー制作のためのご出演者などの事前打ち合わせは一人ではなく社員も加わり行っています。
- ・通常放送中に、月に数回区役所による緊急割込み放送訓練を行っています。これは、災害時に行政からの情報を素早くみなさまにお届けするための訓練です。また、水曜日の「とつかの力」コーナーでは、戸塚区役所、戸塚消防署、戸塚警察署が、また火曜日は栄区役所、栄消防署、栄警察署が週替わりで出演しています。通常時、または災害時に備えて、人々の安全、安心な生活のための情報をお届けしていきます。

■ 上記、各審議委員からのご意見に事務局から下記の回答を併せて、郵送いたします。

■ 次回の番組審議会開催について

エフエム戸塚の「新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み」について、12月以降も継続して行っていきます。次回開催につきましては、今回同様、紙面において開催を予定しております。

追って、議題・音源データをご送付いたします。その際には、ご協力のほど、お願い申し上げます。

以 上